# 育児休業取得状況等報告書

企業担当者記入

■当社の取組状況について
（１）男性の育児休業促進に取り組むきっかけ・背景
・育児･介護休業法改正により、男性の育休取得を促進する時代の変化によるもの
・出生時育児休業の創設によるもの
（２）男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組
・社内規程の改訂
・「出産付添休暇」「出生時育児休暇」の新設
（３）取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点
・収入面の不安を抱えることがないよう、社会保険の免除等制度の説明を行っている
・取得可能パターンを全て説明し、本人に合った育児休業を一緒に考えている
・１年に１度社内イントラで案内するとともに説明会を行うようにしている
（４）取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと
・上長に早めに相談し、他の従業員からの協力が得られるよう働きかけを行った
（５）定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください
・育休を取得した人より意見を聞いて、課題を把握している

育休取得者記入

■育休取得期間　　通算 28 日間　(2026 年 8 月 18 日～9 月 14 日)
■育児休業の取得について
（１）育児休業を取得したきっかけ
・妻の実家が遠く、ひとりで全てこなすのが厳しいと思ったため
・新生児時期は一ヵ月しかなく、成長を見たかったため
（２）育児休業を取得して良かったこと
・子育てを協力ではなく、主体性をもって臨める姿勢を確立できた
・新生児の成長を身近で見ることができ、これからの人生が明るくなった
（３）育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点
・取引先の担当者にも育児休業のことを伝え、社内外で勘違いがないようにした
・とにかくメールなどで形にし、共有した
（４）育児休業の取得経験を通して業務に生かせていること
・人にはそれぞれの事情があり、お互いに協力することの大切さを痛感した
・感謝の大切さを改めて実感し、より積極的に相手に伝えることができるようになった
（５）これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス
・頭ごなしに迷惑かもしれないと思うことなく、父親業をしっかり全うしてほしい
・妻の夫は自分だけ、子供の父親は自分だけということを当たり前に考えずに、
肝に銘じて後悔の無いようにしっかりと考えてほしい